

## アジア非営利セクター国際会議（ICANS）の開催について

2015年12月22日  
トヨタ財団 事務局

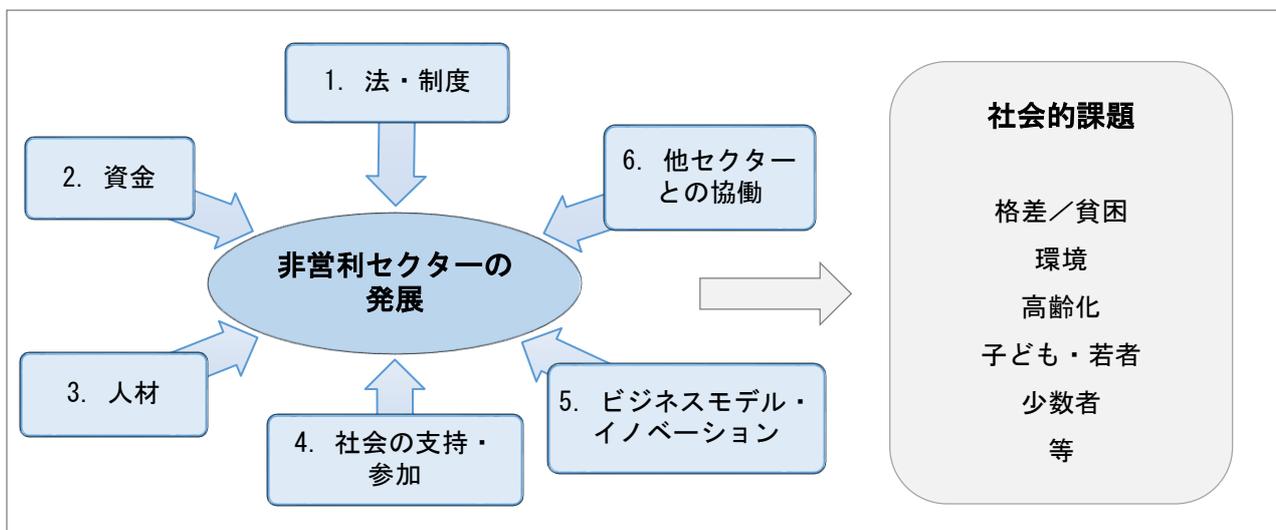
### 1. 背景

アジア各国では経済発展や社会の変化を背景に、非営利セクター（財団・NPO/NGO・社会的企業）の成長が続いている。今後各国の非営利セクターが多様な社会的課題を解決するため果たす役割は益々大きくなっていくと予想され、その発展のためには様々な課題がある（概念図ご参照）。

取り組む分野や制度の違いを越えて、アジア域内の主要な非営利セクターの関係者が集い、各国の現状や課題、好事例等の情報を共有しつつ、協働していく場を持つ必要があるが、そのような交流は近年弱まっており、また特に日本の関係者がそうした域内交流の場に参加する機会が少なく、日本とアジア各国を結ぶネットワークの弱体化が懸念される。

2015年2月に東京で6カ国・地域より27名が集まり協議した結果、そのような場を再生する試みとして、2016年1月21-22日に東京でアジア非営利セクター国際会議（International Conference on Asian Nonprofit Sectors: ICANS）を開催することとした。

（概念図： 非営利セクター発展に向けた課題）



## 2. 目的

- アジアの非営利セクター（特に財団、NPO/NGO、社会的企業）を支援する組織や既存の域内ネットワークを再構築し、情報を共有するための場を設ける。その際に、過去のネットワーク（APPC/CAFO等）の成果に基づきつつ、近年の新たな動きや、次世代の人材を巻き込む。
- 共同プロジェクトや調査等の、国を越えた協働の可能性について検討する。
- アジア各国における社会的課題を解決していく上での非営利セクターの役割や現状について比較の上、各国で必要となる社会的インフラや環境整備について検討していく。

## 3. 概要

- 日時： 2016年1月21日（木）-22日（金）、海外参加者向けスタディツアー 23日（土）
- 開催場所： 東京 国際文化会館
- 使用言語： 英語（全体会および一部分科会は日英同時通訳あり）
- 参加者：  
100-120名程度（招待者のみ、うち海外参加者半数程度）  
対象国・地域： インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国、日本、フィリピン、ベトナム、香港、マレーシア、ラオス（その他の国・地域はオブザーバーあるいはリソースパーソンとして参加）  
対象者： a) 各国において非営利セクターを支援する組織または個人（助成財団、中間支援組織、プラットフォーム、研究者等）および b) アジア地域内の非営利ネットワーク
- 主催者：  
主催： 公益財団法人 トヨタ財団  
共催： 公益財団法人 公益法人協会、特定非営利活動法人 日本NPOセンター  
協力： 公益財団法人 助成財団センター、独立行政法人 国際交流基金 アジアセンター  
各国パートナー： アジア財団、アジア・フィランソロピー・サークル（APC）、南都公益基金会、ロックフェラー兄弟基金 他

#### 4. プログラム (変更の可能性あり)

1日目：1/21 (木)	
10:00-12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会あいさつ： トヨタ財団 会長 奥田碩氏 国際交流基金 (未定)</li> <li>・趣旨説明 全体会 1：アジアにおける非営利セクターの過去、現状、未来 モデレーター：CSO ネットワーク 事務局長 黒田かをり氏</li> <li>・基調講演 1. 後退と前進：アジア非営利セクターの課題と可能性 アジア財団 上席副理事長 スーザン・シスケル氏 2. 個別財団からグローバルなインパクトへ アジア・フィランソロピー・サークル CEO ローレンス・リエン氏 3. 収れんと対立：ポスト 2015 時代の世界観とアジア・グローバルにおける 市民社会の役割 日本 NPO センター 常務理事 / CSO ネットワーク 代表理事 今田克司氏</li> <li>・パネルディスカッション</li> </ul>
12:00-13:00	昼食
13:00-15:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体会 2：アジア各国における非営利セクターの現状 モデレーター：日本大学 教授 稲葉陽二氏</li> <li>1. 東南アジア Lien Centre for Social Innovation CEO ジョナサン・チャン氏</li> <li>2. 東アジア 清華公益慈善研究院 副院長 王超氏 高麗大学 教授 Moon Hyuong Koo 氏</li> <li>3. 日本とアジアの比較 筑波大学 教授 辻中豊氏</li> <li>・パネルディスカッション</li> </ul>
15:00-15:30	コーヒーブレイク

15:30-17:00	分科会 1 : 非営利セクターにおける新たな動き 各分科会とも報告者 3 名およびパネルディスカッション (a) 社会的企業・社会的投資 (b) コミュニティ財団・地域ファンド (c) ソーシャル・ファンドレイジング
17:00-18:30	夕食
<b>(2 日目) : 1/22 (金)</b>	
09:00-10:30	分科会 2 : アジアの社会課題に対応するための非営利セクターの役割 (a) 高齢化 (b) 環境 (c) 地方の再生
10:30-10:45	コーヒーブレイク
10:45-12:15	全体会 3 : 分科会とアジア域内ネットワークからの報告 ・既存の域内ネットワークより報告 アジア・フィランソロピー・サークル COO マティアス・テレゲン氏 Asian Venture Philanthropy Network ケビン・テオ氏 ・分科会より報告 ・グループワーク : 今後の協力に向けた計画作り
12:15-13:15	昼食
13:15-15:30	全体会 4 : 将来への協力に向けて - グループワーク - 協働計画の発表、ディスカッション ・閉会あいさつ : トヨタ財団
<b>(3 日目) : 1/23 (土)</b>	
09:00-18:00	現地視察 (海外参加者向け、希望者のみ) - 山谷地域 (高齢化・貧困) - 埼玉地域 (地方の再生)